

市議会だより おおむら

Omura City
Council News

3月
今回の定例会は 12月 6月
9月



CONTENTS

9月定例会……P2 決算……P4 賛否が分かれた議案……P6
市政一般質問……P8 大村市議会NEWS……P20



表紙の写真は、8月8日に市議会議場において開催された、子ども議会の模様です。市内の小学生6名、中学生6名の計12名が子ども議員として登壇し、市長をはじめ市の幹部に対し、身近な問題からまちづくりに至るまで、幅広い分野について質問や提案を行いました。

TOPIC ◎9月定例会 令和5年度一般・特別・企業会計決算を認定

◎市政一般質問 20名の議員が登壇し、市役所新庁舎、市民プール建設などについて議論



9月定例会



令和6年度の補正予算のほか、公の施設の指定管理者の指定についてや、人権擁護委員候補者の推薦についてなど22議案を可決・承認しました。

補正予算

市民がお花見を楽しめる空間づくりを推進します

164億7,626万円を増額する令和6年度大村市一般会計補正予算(第2号)など3件の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算における分科会での主な審査内容は、次のとおりです。

経済建設分科会

***さくらの里づくり事業**

(概要)

熊本県阿蘇郡高森町の造園業者から、桜の木100本の寄贈があり、市内の公園や広場への植栽を行い、市民がお花見を楽しめる空間づくりを推進するもの。

(審査内容)



暑さ対策のため日陰を確保するという意味では、樹木の植栽は非常に大事なことだと思っている。総合運動公園のぼけん広場に植栽される樹木の樹齢はどのくらいのもので、何本植栽される予定なのか。また、植栽はどの辺りを予定しているのか。



成木で樹高が4メートルほどの樹木を予定している。一、二年後には桜は咲くのではないかと思っているが、ある程度枝が張るのには二、三年かかるのではないかと考えている。植栽する場所については、ぼけん広場の真ん中にあるトイレから南側の園路沿いに11本ほど植えられるスペースがあるので、そこに計画をしている。実際に植える際には、もう少し植えられる場所がないか検討したい。



総務分科会

*姉妹都市交流事業

(概要)

令和7年5月実施予定のサンカルロス市への公式訪問に係る経費について、公式訪問に併せ、大村市民一般訪問ツアーを計画しており、令和6年度内に旅行会社の決定、参加者募集など事前準備に一定期間を要することから、債務負担行為を設定するもの。

(審査内容)

Q 中学生や高校生のホームステイにつながるように、現地の企業や研究機関、教育機関と何かプログラムを組むためのプレゼンテーションをする機会にしてほしいが、どうか。

A

今回の公式訪問の際に、そういった計画ができるよう交渉等を行っていききたい。

厚生文教分科会

*小・中学校校舎等整備事業

(概要)

学校の照明器具をLED化する工事および体育館の外部へ冷水器を設置するための実施設計を行うもの。

(審査内容)

Q 市内21小中学校のLED化が完了するのはいつか。

A

長寿命化計画に基づく工事が近い学校については、長寿命化工事の中でいい、それ以外の学校については、令和7年度までに完了したいと考えている。

議決

福重小学校の校舎建て替え工事に係る契約の変更を行います

工事請負契約の変更について（大村市立福重小学校校舎改築建築工事）など、13件の議決議案を可決しました。

委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

厚生文教委員会

*工事請負契約の変更について

(大村市立福重小学校校舎改築建築工事)

(概要)

現在建て替えを行っている福重小学校校舎の建築工事において、工事に必要な資材の納期が遅延するとともに、当初想定していた作業人員を確保できなかったため、竣工期限を令和6年12月10日から令和7年2月7日に変更するもの。

(審査内容)

Q 竣工期限が約2カ月延びるが、新校舎への引っ越しスケジュールに影響はないか。

A 卒業式などの学校行事に影響はないが、6年生に少しでも長く新しい校舎で過ごしてもらえよう、現在調整を行っている。

請願

2件の請願が提出され、所管の常任委員会で紹介議員から趣旨説明を受けるとともに、請願者から意見を聴取するなど内容を検討しました。1件が取り下げられ、1件を不採択としました。

●国に対し、「パレスチナ・ガザ地区における人道的状況の改善と即時停戦を求める意見書」の提出を求める請願：取り下げ

●国に対し、「米兵の性的暴行に厳重に抗議し、日米政府に対策を強く求める意見書」の提出を求める請願：不採択

陳情

2件の陳情書が提出され、所管の常任委員会で検討し協議を行いました。

- 母が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情
- 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情





一般会計決算の概要

歳入

699億6,158万円

前年度比 7.8%増

《主な増加内容》

固定資産税、モーターボートレース事業収入

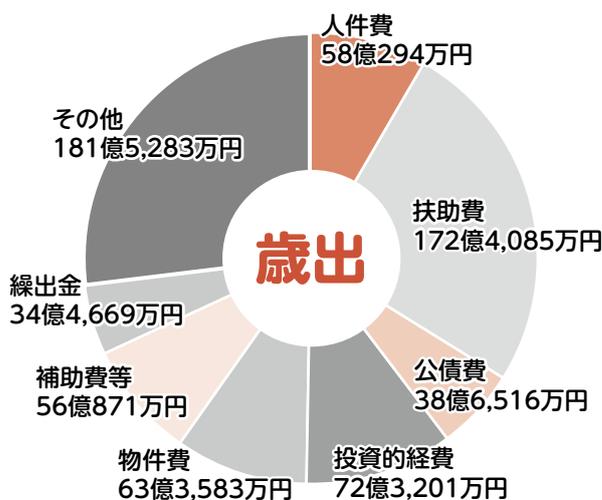
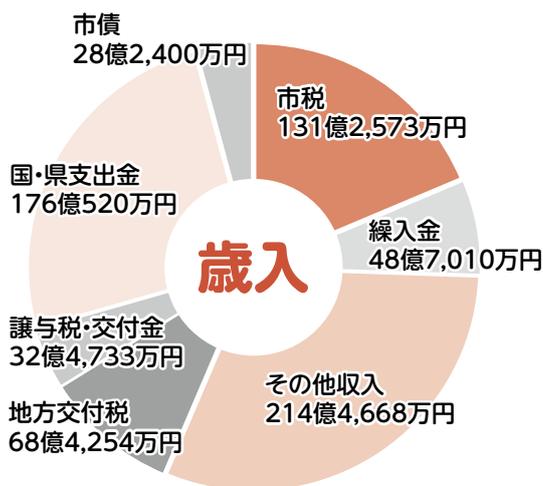
歳出

676億8,502万円

前年度比 9.3%増

《主な増加内容》

総務費(市庁舎建設整備基金積立金)、
教育費(小・中学校施設長寿命化計画推進事業)



令和5年度

決算審査

特別会計		歳入	歳出
国民健康保険事業		97億6,654万円	97億6,218万円
後期高齢者医療事業		12億434万円	12億101万円
介護保険事業	保険事業勘定	76億7,392万円	75億4,978万円
	介護サービス事業勘定	7,740万円	7,740万円
工業団地整備事業		3億2,606万円	3億2,606万円

企業会計		収入	支出
病院事業決算	収益的	5億102万円	4億3,625万円
	資本的	6億3,784万円	6億3,817万円
競艇事業決算	収益的	2,014億8,066万円	1,858億1,561万円
	資本的	1,320万円	31億772万円
水道事業決算	収益的	22億7,461万円	18億8,151万円
	資本的	8億982万円	19億8,402万円
工業用水道事業決算	収益的	2億5,088万円	2億7,221万円
	資本的	2億3,222万円	2億5,680万円
下水道事業決算	収益的	28億6,568万円	23億1,912万円
	資本的	8億6,880万円	21億1,152万円
農業集落排水事業決算	収益的	3億9,063万円	3億5,159万円
	資本的	1億3,313万円	2億4,892万円

9月定例会では、令和5年度の一般会計の決算を認定したほか、国民健康保険事業やモーターボート競走事業など10の特別・企業会計の決算を認定しました。また、水道事業など4会計の利益剰余金処分を可決しました。



令和5年度一般会計決算における分科会での主な質疑・意見は次のとおりです。

企画政策部

*** 大学誘致推進事業**

Q 今後の大学誘致の方向性としては、積極的に何が何でも取りにいくというスタイルではないと思うが、次年度の予算編成において、大学等の誘致に係る予算を編成する方針はないと考えてよいか。

A 外部の検討委員会を設置しているが、令和6年11月までの期間となっており、現段階では期間の延長等は考えていないため、その委員の報酬等も発生しないと思っている。また、今後の調査等の委託についても現段階では想定していない。

総務部

*** 災害復興支援事業**

Q 被災地へ派遣された職員に対し、今後の施策に反映する部分があるかなどの聞き取りをしているのか。

A 部課長による個別のヒアリングはしていないが、職員の報告書等を通じ、市長等への報告を行っている。そういったものをまとめ、今後の市の災害対策にしっかりと反映できるようにしていきたい。

福祉保健部

*** 自殺対策事業**

Q 「命と心の相談窓口」専用ダイヤルは何回線あるのか、また1回の電話につき対応時間はどのくらいかかるのか。

A 回線数については、1回線である。1回の電話につき、おおむね30分程度であるが、長い場合には2時間ほど対応することもある。

教育委員会

*** 学校適応指導教室運営事業**

Q 学校に行けない児童生徒に対し、集団生活や学校生活に対応できるように、あおば教室ではどのようなプログラムで指導を行っているのか。

A 基本的に時間割を設定し、大体1日4時間のコマで学校生活と同じような形で学習を進めている。また、週に1回は通っている児童生徒全員で、シーハットでスポーツを行っている。

産業振興部

*** 観光施設対策事業**

Q 松原海水浴場の利用者数が令和3年から少しずつ減ってきているが、市庁舎建設に伴い市民プールが取り壊され、泳ぐところがなくなるため、来年度、松原海水浴場の利用者数が増えるのではないかと思うが、どのように考えているのか。

都市整備部

*** 公園再整備事業**

A 昨年度の台風で休憩所のテントが一部被害を受けているので、日よけ対策ということとでテントの延長を考えている。また、来年度は来場者数が増えると思われるため、シャワー施設や付属の施設を拡充しなければならぬのではないかと感じている。これから予算編成時期になるので、市民プールの利用者数などの確認や財政部とも協議をしながら、来年度の取り組みについては引き続き検討していきたい。

Q 岳ノ木場公園や赤佐古公園などの遊具が更新されているが、市内の公園の遊具等の整備状況はどうなっているのか。

A 令和5年度の更新で、使用を禁止していた遊具については全て解消している。今年度の業務で遊具の詳細な点検を実施するようしており、判定に基づき事業計画を立て、更新を進めていくように考えている。



賛否が分かれた議案と審議結果

※賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案番号	件名	審議結果
第73号議案	令和5年度大村市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第76号議案	令和5年度大村市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第80号議案	令和5年度大村市水道事業の利益剰余金処分の議決及び決算の認定について	原案可決及び認定
請願第4号	国に対し、「米兵の性的暴行に厳重に抗議し、日米政府に対策を強く求める意見書」の提出を求める請願	不採択
議会第2号議案	住民票の正確かつ統一的な記載を求める決議	原案否決

議員別賛否一覧表

(○は賛成 ×は反対 城幸太郎議長は採決に加わらない)

議員名	進風おおむら					みらいの風					誠和会					知音会		公明党		おおむら次世代		無会派		賛成	反対	
	高見龍也	久保和幸	高濱広司	堀内学	中崎秀紀	村崎浩史	南波伸孝	光山千絵	晦日房和	松尾祥秀	朝長英美	村上秀明	入江詩子	田中秀和	小林史政	山口弘宣	里脇清隆	水上享	永尾高宣	竹森学	田中博文	中村仁飛	古閑森秀幸			永山真美
第73号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	22	1
第76号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	22	1
第80号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	22	1
請願第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	4	19
議会第2号議案	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7	16





令和6年度大村市一般会計補正予算(第2号)に対する付帯決議を行いました

第70号議案令和6年度大村市一般会計補正予算(第2号)に計上された、大村市社会福祉協議会への委託事業に係る消費税の取り扱い誤りに伴い判明した社会福祉協議会の未申告消費税額を契約の状況等に応じた市負担分として増額する「社会福祉協議会運営費補助事業」について所管分科会、一般会計予算決算委員会および本会議においてさまざまな議論が交わされました。議論の経過については、以下のとおりです。

厚生文教分科会

Q 市と社会福祉協議会の負担割合について、どのように決定したのか。

A 社会福祉協議会との契約はすでに完了しており、その後判明した消費税であることから、市としてどのように負担すればよいか顧問弁護士に相談したところ、契約上、市は税込み表記があるとしながらも、全ての経費に消費税相当額が加算されているか確認を行わなかったこと、社会福祉協議会は税込み表記はしているが、一部の経費には消費税額を含まず算出し、かつ申告もしていないことから、お互いに落ち度があるとし、社会福祉協議会の財政状況も考慮しながら、税込みで契約を行っている事業については、市と社会福祉協議会が協議して負担割合を決めていかれたらどうかとの見解であった。それを踏まえ、社会福祉協議会も顧問弁護士などに相談をされ、双方の負担割合について協議を行い、5対5で合意に至った。

本会議

採決の結果、令和6年度大村市一般会計補正予算(第2号)は全会一致で可決されましたが、その後、7名の議員から以下の付帯決議案が提出されました。

第70号議案令和6年度大村市一般会計補正予算(第2号)に対する付帯決議

令和6年度大村市一般会計補正予算(第2号)中、福祉総務課所管の社会福祉協議会運営費補助事業において、令和元年度から令和5年度までの委託事業に係る人件費相当分の未払い消費税2,976万3,575円のうち、社会福祉協議会と締結した契約書に、非課税事業と誤認し税込みの表記がなかった分については全額を、人件費に消費税を加算せず税込みの表記があった分については半額を市が負担するものとして、計1,928万6,853円が計上された。

残りの1,047万6,722円については、契約書に税込みとの表記がなされていたとのことで、半分は社会福祉協議会が負担すべきものとして予算計上はなされていない。

社会福祉協議会は、大村市の誰もが安心して暮らせるまちづくりを支える社会福祉団体であり、本市と共に福祉行政の一翼を担っている。

また、収入の84%が受託金・補助金で、支出の83%が人件費となっており、財政状況も厳しい状況にある。

委員会審査の中で、税込みとの表記がなされていた契約については、誤記であり消費税分は含まれていなかったことが明らかとなった。

また、市は令和元年度に大村市監査委員から要確認との指導を受けながらも、税務署への確認をせず今年度まで慣例的に契約を行ってきた。

審査の中で、市も税込みの表記は誤記であったことを認めており、本来の在り方に立ちかえり、消費税を支払うべき市が全額負担すべきものと判断するものである。

今後も市と社会福祉協議会との良好な関係の中で、大村市の福祉政策が円滑に行われるよう願うものである。

以上を踏まえ、市に対し、社会福祉協議会が申告・納付すべき消費税相当額の全額を市が負担する予算計上を求めるものである。

★採決の結果、付帯決議案は全会一致で可決されました。

注1…議案の議決に当たり、議案が意見や希望などを表明するために付される決議。法的拘束力を有しないが、政治的に尊重されるべきものとされている。





🏠 防犯・防災

崩落危険性のある急傾斜地について



山口 弘宣 議員

市内各所には、崩落危険がある箇所が見受けられると思うが、現在ある県・市の急傾斜地に対応する事業については、認定要件が厳しいので、新たに市独自で崩落危険性箇所緊急対策事業等を立ち上げて大事故を未然に防ぐ対策が必要であると考えているが、見解を尋ねる。

答 崩落の危険がある個人所有ののり面対策については、原則として所有者で対応するべきと考えている。しかし、採択要件に合わない場合は、個人や地区で対応するには経済的に困難であることも考えられる。そのため、崖下に他の住居または道路、公園の公共施設などがある場合など、崩壊により第三者への被害が想定される場合において、助成などの対応ができないか、他市の実施状況や課題を整理し、事業化に向けて検討をしていく。



市政一般質問



9月定例会では、20名の議員が質問を行いました。主な内容をご紹介します。

(QRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。)

● 索引 ●

防犯・防災…………… p8	教育・文化・スポーツ… p12～13
生活・環境…………… p8～9	都市整備…………… p14
福祉・医療・保健… p9～11	行財政・一般…………… p15～18
産業・経済・労働… p11～12	

💧 生活・環境

動物愛護管理センター(仮称)について



久保 和幸 議員

県は令和9年度中の供用開始を目標に、長崎県動物愛護管理センター(仮称)を整備することとしているが、施設の概要や組織体制について尋ねる。また、収容動物との触れ合いの場として愛護精神の醸成も目指しているが、業務の内容を尋ねる。

答 収容機能、治療・健康管理機能、啓発機能、動物の健康管理や触れ合いの場とする運動場などの機能のほか、ドッグランなどの運用にも柔軟に対応できるよう、フレキシブルな施設とすることが県の整備基本計画に盛り込まれており、県と民間事業者が適切な役割分担と連携の下で行っていくこととされている。現在のアニマルポートセンターの業務に加え、施設の機能を十分に活用することで、人と動物の関わりを豊かなものとし、交流と連携を生むような事業、譲渡会の推進や動物との触れ合いの場の提供、命の尊さを学ぶセミナーや、災害訓練の実施、民間事業者から提案される独自の事業など、これまでにない新しい事業の展開が期待されている。



💧 生活・環境

「まちのコイン」とふれあいスペースの設置



高見 龍也 議員

八女市を行政視察したところ、地域デジタル通貨「まちのコイン」を導入し、体験活動で獲得したコインを使用して市民が交流できるスペースで無料の八女茶を飲み、語り合い、雑誌を読み、チャレンジショップを出店していた。大村市民の憩いの場、観光客増加と学生が大村の歴史を学ぶために大村市でも企画できないか。

答 本市では令和6年3月にポータルアプリ「おむすび。」と、デジタル地域通貨「ゆでび」をリリースしている。「ゆでび」は、地域経済の活性化のみならず、市民参加型のまちづくりを目指して創設したもので、これまで市民大清掃等のイベントやボランティアに参加した方にゆでびポイントを付与しており、今後もさまざまな場面での付与を計画している。市としては、新たなコインを導入するのではなく、「おむすび。」と「ゆでび」を活用したつながりやにぎわいを創出していきたいと考えている。八女市の拠点づくりなどの取り組みについては今後の参考にしたい。



生活・環境

新市民プールの建設について



中村 仁飛 議員

新市民プールの案にスライダーの記載がないが、市民からの要望も多い。現在の市民プール案では経済波及効果もあまり期待できないので競艇と絡めて、現在の市民プールと遜色のない、他の自治体にはないような特色のあるプールを競艇周りに建設してみてはどうか。

答 スライダーについては、多くの方に利用されており、大変人気があることは承知しているが、年間40日ほどしか利用できないスライダーを現在と同じレベルで整備することは難しいと考えている。これまでもボートレース大村で競走水面を活用したバナナボートなど、さまざまなレジャーの催物を開催してきたため、さらに競艇と親和性のあるような、その場で楽しめるレジャーをボートレース大村の中でも提供していきたい。新たなプール施設についても夏場のレジャーとして楽しめるように移動式のアスレチックプールの設置を含め、考えていきたい。



生活・環境

地域猫活動と単なる餌やりに明確な区別を



竹森 学 議員

野良猫に去勢、不妊手術を施し、餌やりやトイレのルールを定めて管理する地域猫活動は、住民と野良猫の共生を図る重要な取り組みである。これとは異なる単なる餌やりが市内で横行している。この単なる餌やり行為と地域猫活動が混同されないように活動中であることを目に見えて明確に区別できるようにできないか。

答 現在、シーハットおおむらでのボランティアによる活動においては、単なる餌やりをされている方との区別がつくように、ピンク色のビブスを着用して活動してもらっている。地域猫活動についても、そのような取り組みができないか、県央保健所と相談していく。



福祉・医療・保健

障がい者への就労支援について



久保 和幸 議員

就労移行支援事業に取り組んでいる事業所と利用者ほどのくらいか、そのうち何名が一般就労に移行されたか尋ねる。また、積極的に障がい者雇用に取り組む企業等に対してインセンティブはないのか。今後の障がい者就労支援の取り組みについての考えを尋ねる。

答 令和6年7月末現在で休止中を除き、事業所数は4カ所、決定利用者数は29名、令和5年度に就労移行支援事業から一般就労された方は14名である。本市では、市が発注する工事のうち、一定の条件のものについて障がい者雇用など、社会貢献活動を実施する事業者に限定して、入札に参加していただくインセンティブ発注を令和4年度から試行的に実施しており、令和7年度から本格実施する。今後の予定としては、企業と障がいのある方をつなぐイベントの開催を検討しており、今後も就労に関してどのような取り組みが必要かなど協議を進めていきたい。



生活・環境

藻場再生に向けた予算の充実を求める



里脇 清隆 議員

実証実験として藻場の再生に向けた事業である大村湾SDGsプロジェクトは環境省の環境技術実証事業ETVの認証も受けられると聞いており国も成果を認めているということだ。企業版ふるさと納税を活用した1,000万円ではわずか200平方メートルしか実施できない。本格的な取り組みに向けて寄付に頼らない予算措置をすべきだ。

答 本事業はこれまで複数年取り組んできていたため、事業効果をしっかりと検証して事業として継続するための予算を一定額準備することは必要であるという認識を持っている。今後の取り組みについては、これまでの事業効果を踏まえながら、ブルーカーボンプレジットの認証に伴うクレジット売却益の活用、企業版ふるさと納税制度が延長とならなかった場合には、従来からの大村市ふるさとづくり寄附の活用も含め、関係部局と協議を行いながら事業の継続に取り組んでいきたい。





福祉・医療・保健

保険証廃止に伴う 今後の対応について



南波 伸孝 議員

12月2日以降、マイナンバーカードを持っていない、または保険証をマイナンバーカードにひもづけたくない方には資格確認書が届き、現行の健康保険証と同じように使用できるとのことだが、資格確認書の有効期限とその期限を迎えたらその後はどのようなのか尋ねる。

答 大村市国保および後期高齢者医療の資格確認書の有効期限は、所得情報による負担割合等の切り替えが必要になることもあり、現行の被保険者証と同様に最長1年間、翌年度の7月までとしている。有効期限が過ぎた後は、本人の申請によらず更新後の資格確認書を交付するため、これまでと変わらず医療を受けることができる。



福祉・医療・保健

新型コロナワクチン 定期接種について



南波 伸孝 議員

新型コロナワクチンの健康被害救済制度の認定数は令和6年8月22日時点で申請件数11,773件、認定件数7,970件である。過去45年間の全ワクチンの累計健康被害認定件数3,522件を大幅に上回っており、新型コロナワクチン定期接種の実施に懸念がある。接種について、どのように考えているか市長の見解を尋ねる。

答 新型コロナウィルス感染症が5類感染症に位置づけられたが、今年の夏場にも一時的に流行したことから、高齢者や重症化リスクの高い基礎疾患を有する方は、ワクチン接種に一定の関心があると思っている。ワクチン接種については感染症に罹患した場合の重症化や後遺症の可能性とワクチン接種による副反応の可能性を本人が検討した上で判断してほしいと考えている。



福祉・医療・保健

ファミリー・サポート時の 預かり場所について



入江 詩子 議員

小さな子どもとの暮らしに慣れていない会員の自宅で預かる場合、子どもにとってリスクとなるような環境のチェックは必須だが、それでも思わぬところにリスクが隠れている場合がある。市のホームページに「預かりは、会員の自宅など、子どもの安全が確保できる場所で行います」とあるが「おむらんど」を預かり場所として利用することは可能か。

答 預かり場所については、会員の自宅など児童の安全が確保できる場所とし、会員間の合意により決定することとしている。本事業を実施されている県内の他の自治体では、近くの公園や公共施設などで預かりを行っているため、本市でも同様の場所での預かりがあると想定している。おむらんどの利用については、現在、調整を進めているところである。なお、おむらんど以外でも、こどもセンター2階の交流室や和室を土日の預かりに利用できるよう進めている。



福祉・医療・保健

高齢者の交通費助成 について



永尾 高宣 議員

高齢者が安心して暮らせるために、移動手段の確保は重要な課題である。乗り合いタクシー等による地域公共交通ネットワークの充実を図るとともに、運賃の一部を助成するとした場合、定額助成、定率助成がいいのか、本市にとってどのような手法がベストであるかを現在検討されているところであるが、その進捗状況と課題について尋ねる。

答 高齢者等に対する交通費助成の導入について、現在、制度設計を行っているところであり、年齢などの具体的な対象要件を検討している。制度の実施については、今回交通系ICカードの活用を検討しているところであるが、そのためには一部の交通事業者の環境整備が必要となることやICカードの利用登録が必要となることなどの課題がある。令和7年度中には導入できる方向で進めていきたいと考えている。





産業・経済・労働

地域公共交通対策について



村上 秀明 議員

今年の3月に大村市地域公共交通計画が策定されたが、交通政策室の現在の職員数に対して解決していく課題が多いように感じる。長崎県交通局や県営バスの専門職を登用し職員を増員して、一定期間配置するなどして重点化し、課題解決に取り組むべきと考えるが、市長の考えを尋ねる。

答 課題が複数の分野に絡み合っているため、一度課題を整理し、令和7年度は機構改革を行うため、その中でどういった部署の再編と人員配置が最も重要なのかということを検討していきたいと考えている。



産業・経済・労働

新幹線西九州ルート^{注2}のフル規格化に向けて



小林 史政 議員

新幹線フル規格促進協議会の主催するシンポジウムや与党PTの会議などが開催され、市長も最前線で全線フル規格に対する必要性を訴えられていると思うが、新大村駅前における今後の整備内容と大村市への新幹線開業効果を改めて確認すると同時に、全線フル規格に向けての取り組みについて尋ねる。

答 今後は分譲マンションが秋に完成予定であり、新大村駅公園は令和7年の春に供用開始予定である。開業効果としては新大村駅前のスーパーにおいて1日平均2,000人以上の方が来店されるなど、新大村駅周辺の交流人口の増加が挙げられる。また、新大村駅周辺の人口が増加していることから、着実に開業の効果が表れていると考えている。全線フル規格に向け、与党検討委員会のヒアリングでは高速交通が整い人口が増加していること、車両基地が観光面でも効果を上げていること、新幹線には災害や人命救助などの命をつなぐ役割もあるということなどを説明している。



教育・文化・スポーツ

小中学校で昼の見守り声掛け補助員の雇用



高見 龍也 議員

近年、小中学校の先生方の精神疾患による病気休暇・休職が増加している。私が視察したところ、昼の45分間の休憩時間も教室で児童生徒を見守り、心身を癒す時間を取りにくい実態が分かった。そこで、昼の見守り声掛け補助員を雇用して先生方が英気を養い、午後から元気いっぱい授業に臨める環境をつくれないうか。

答 議員ご指摘の件について、特に小学校においては判断能力が低い子どもたちを預かっているため、給食や昼休みの時間に監視の体制から外すことは非常に難しいと思う。また、事故が起こった場合は、教師の責任を問われるためなかなか離れられない。本年度新任採用された先生たちに意見を聞いたところ、「昼休みも子どもたちと一生懸命遊びたいが、暇がない」という意見が多かった。見守り声掛け補助員の雇用については、一つの提案としてしっかり受け止め、改善に向けて真剣に考えていきたい。



産業・経済・労働

分収林の管理の現状と今後について



村上 秀明 議員

森林の経営や主伐・間伐といった管理方法などの計画は分収林の経営管理計画のことだと理解をしているが、この計画の中でいくつかあると思うが、代表的なもので分収林を経営管理される組織の状況、森林組合の関わり、そして市の考え方など、その内容を尋ねる。

答 今後も引き続き経営を希望する団体は、契約満了後も契約更新を行い、継続した森林整備に取り組む方針としている。契約更新を希望しない団体は、基本的には全ての樹木を伐採した売却益をもって、契約した分収割合に応じて契約を精算することとなる。契約解除後の森林は、市の直轄林として地元の林業事業体の協力の下、適切な管理に努めていきたい。長崎南部森林組合大村支所とは分収林の経営方針の検討における現地調査や意向調査などの委託契約を行い業務に取り組んでいる。今後も市有林および私有林の経営管理について協力いただきながら、適切な林務行政に取り組んでいきたい。



注2：与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム九州新幹線(西九州ルート)検討委員会



教育・文化・スポーツ

大村の偉人の顕彰について



永尾 高宣 議員

これまで石井筆子の顕彰、映画化について質問をしてきた。新紙幣が発行され、石井筆子と親交のあった「渋沢栄一」「津田梅子」であるが、石井筆子との関係性はあまり表に出ていない。石井筆子を中心とした顕彰に加えて、筆子の父「渡辺清」、叔父「渡辺昇」など明治維新のストーリーを歴史観光に生かし、全国に向かってアピールできないか。

答 渡辺清・昇兄弟、本年7月に発行された新1万円札の渋沢栄一と新5千円札の津田梅子との関わりが深い石井筆子、千円札の北里柴三郎と関わりが深い長与専斎など、幕末から明治に活躍した大村の偉人をより多くの皆さまに知ってもらえるよう歴史資料館での展示をはじめ、これまで以上に市内外への情報発信に努めていきたい。特に石井筆子については、来年度から中学校道徳の教科書「あすを生きる」の題材として取り上げられることから、石井筆子の名前を全国区にする大きな力になるものと考えている。



教育・文化・スポーツ

全小中学校に給水器の設置を!



竹森 学 議員

6月議会において体育館改修中の小中学校2校に試験的に給水器を設置する方針を確認した。その際、全ての学校に設置を要望したが、まずは試験的に設置してからとの答弁であった。しかし一転、今議会で全小中学校に給水器設置の予算が上げられている。大変うれしく思うが、これに至る経緯と設置完了時期について確認する。

答 6月議会での答弁後、昨今の記録的な猛暑を受け、早急に全学校へまずは1台を設置するべきと判断した。屋外の児童生徒も利用できるよう、体育館の外部に設置したいと考えている。本定例会において、冷水器設置に係る設計業務委託料を計上しているため、承認されれば速やかに準備に取りかかり、令和7年の夏に間に合うよう、次回定例会において設置工事予算を計上できればと考えている。令和5年度から改築工事や長寿命化改良工事を進めている西大村中学校および放虎原小学校については、令和7年3月ごろには使用が可能となる予定である。



教育・文化・スポーツ

空港入り口の黒丸踊像を新たに設置すべき



高濱 広司 議員

空港入り口の黒丸踊像は、なかなか立派である。しかし、最初に作られた黒丸踊像がもっと勇壮であったことはあまり知られていない。できてすぐに強風で壊れ、改修されたからである。黒丸踊は、ユネスコ無形文化遺産に登録された大村が誇る文化財である。現在のものは新大村駅の公園に移設し、新庁舎に併せて新設すべきだ。

答 黒丸踊像の移設や新たな設置については、現在のものも非常に立派なものであり、現在地に置くか、他に良い場所があるかなど、黒丸踊保存会などの意見を聞きながら考えていきたい。



教育・文化・スポーツ

特別な支援を要する児童生徒について



入江 詩子 議員

特別支援教育を受ける児童生徒は2022年に約59.9万人で、2012年の約2倍、小中学校の特別支援学級の在籍数は2.1倍、通常の学級での在籍数は2.3倍だ。大村市内の小中学校の特別支援学級の状況、特に知的障害・自閉症・情緒障害学級と通級指導教室の状況、就学先決定後の学級増設や補助員増員の予算確保状況はどうか。

答 特別支援学級の数および在籍人数は小学校14校に52学級、266人、中学校6校に21学級、103人である。このうち、知的障害は小学校は21学級、123人、中学校は9学級49人であり、自閉症・情緒障害は小学校は24学級133人、中学校は9学級51人である。通級指導教室は小学校4校、11教室で143人、中学校2校、2教室で31人が通級している。特別支援学級開設の際には、必要な備品等の購入希望調査を行い、希望に添えるよう対応している。補助員の配置についても配置希望調査を行い、調整を行った上で配置している。





都市整備

大村市営テニスコート 照明のLED化を



梶日 房和 議員

本テニスコートにはナイター用の水銀灯が整備されているが、夏場に悪臭を発生する大量のカメムシやガが飛来しプレーの妨げになるばかりでなく、首や腕をかまれて健康被害も発生している。また、水銀灯の点灯に15～20分の時間がかかる。そのため瞬時に点灯でき、かつ、防虫・節電効果のあるLEDへの改修を要望する。

答 現在、公共施設等の照明については、計画的にLED照明へ切り替えを検討しているところである。テニスコート照明設備については、スポーツ協会から防虫効果が高く、節電効果があり、瞬時に点灯できるLED照明への改修について要望いただいているため、他のスポーツ施設を含め、計画的に、早期に整備ができるよう検討を進めていきたい。



都市整備

南部運動広場海側への トイレの設置について



山口 弘宣 議員

南部運動広場の海側に、下水道につなげる必要がなく、くみ取り、電源不要の新型トイレ「トワイレ」を設置できないか。この簡易トイレは、クレーン付きトラックで移動させることも可能であり、災害時の緊急トイレとして活用できるため、人と環境に優しい取り組みとして実施できないか見解を尋ねる。

答 グラウンドなどのスポーツ施設のトイレについては、基本的に1施設当たり1つと考えており、南部運動広場にトイレを新たに設置する考えは、現在のところない。災害時にトイレが使用できない場合の対応としては、マンホールトイレで対応することを考えている。現在、市内の13の小中学校に計61基のマンホールトイレを設置している。また、災害時応援協定を締結している会社が所有しているトイレカーの利用も考えている。議員ご提案のトイレについては、価格がおおよそ2,600万円と聞いており、設置については困難であると考えている。



都市整備

点字ブロック整備に ついて



堀内 学 議員

点字ブロックに関心を持ちながら歩いていると、点字ブロックの破損やマンホールでの途切れ、建物側と道路側が接続されていないこと、経年劣化し輝度が低下しているであろうものが多数見受けられる。現状での課題、問題を把握するためにも、道路の点字ブロック整備状況、ならびに設置状況・破損状況など点検は、どのように行っているのか尋ねる。

答 点字ブロックの維持管理については、日常のパトロールでの点検や市民から通報のあった箇所について、修繕などの維持補修を行っている。



都市整備

陸上競技場の改修に ついて



梶日 房和 議員

市スポーツ協会を通し陸上競技協会から公認競技場の改修について要望が上がっている。スケジュールを含め供用開始はいつごろになるのか。また、公認競技場は1種から4種および4種ライトと5種類に分類されているが、どの種類を予定されているのか。さらに、その簡単な特徴について尋ねる。

答 令和6年度に競技施設に係る実施設計および建築物に係る基本設計を行い、その後、令和7年度にかけて建築物に係る実施設計を行う予定である。実施設計完了後から令和8年度にかけて改修工事を行い、令和8年度末までに公認陸上競技場の認定を得て、令和9年度初めの供用開始を目指して整備を進めたい。本市の陸上競技場は第4種を予定しており、特徴としては収容人員の規定はなく、小規模な地域の競技会、記録会が開催できる競技場となっている。直走路が6レーン以上で、トラックとフィールドは、3種が全天候舗装を要することにに対し、4種は土でも可となっている。



行財政・一般

ネーミングライツの導入について



田中 秀和 議員

公共施設の管理経費を補うネーミングライツについて、令和5年12月議会では新設する体育館や文化ホールなどでの活用について調査、研究をするとの答弁があった。長崎市では令和6年度の4月から広く市の施設を対象にネーミングライツの募集を行い、5月には4公共施設で、年間330万円の5年間の契約が決定している。本市でも積極的に検討すべき。

答 ネーミングライツについては、令和6年2月に副市長および部長級職員で構成する歳入対策会議を開催し、導入する方向で進めている。企業側のメリットとして、宣伝効果があり、新規施設や改修した施設がその効果が高いと考えられるため、今後、改修を予定している陸上競技場や総合運動公園多目的広場のほか、第2体育館や文化ホールなども対象としながら進めていきたい。



行財政・一般

ソウル便再開に伴う「市民のつばさ」について



田中 秀和 議員

令和6年10月27日から長崎-ソウル便が運行を再開する。また令和7年5月1日は、長崎空港開港50周年になる。令和7年度にこのソウル便を利用した「おおむら市民のつばさ」を検討してはどうか。再開する国際定期路線の利用促進に積極的に関わることも、空港所在市の大きな役割と考えるが市長の見解を問う。

答 おおむら市民のつばさは平成25年度を最後に実施していないが、国際定期路線の利用促進のためにも、積極的に関わることは非常に重要だと考えている。実施するためには、行き先が韓国であれば県のソウル事務所等の協力が必要であるため、まずは県に相談したい。また、国際便を定着させるには、一度きりではなく継続的なアウトバウンドが重要だと考えているため、県とともに進めていきたい。



行財政・一般

新庁舎移転における職員駐車場について



水上 亨 議員

新庁舎建設に向け設計業務が進行している。当然ではあるが公用車・来庁者の駐車場は計画されている。市内の事業所・個人病院・商店等では雇用主の責任として従業員用の駐車場が確保されている。職員・非正規職員の駐車場について協議検討を重ね、庁舎移転、供用開始までに通勤の不安をなくすよう雇用主の責任を果たすべきだ。

答 職員の駐車場については、県内の自治体の状況を調査しており、令和5年12月には職員向けに駐車場に係る意向調査を実施している。現在と同様に駐車場の利用は有償ということで考えており、新庁舎周辺の公共用地の利活用のほか、民間駐車場の活用などの検討を進めている。



行財政・一般

市役所新庁舎の建設について



水上 亨 議員

新庁舎建設の基本設計書では、本体工事費約128億円、関連する工事費、必要経費等を含め約180億円と示された。今後、実施設計、工事契約を行い、令和10年度の完成までは物価変動等で事業費の増額が推測される。さらに環境センター、屋内プール、市民文化ホール、武道館、体育館の建設計画等で市財政が逼迫すると危惧する。

答 中期財政見通しにおいて、令和7年度以降のボートレース事業からの繰入金を見込まずに試算しており、5年後の令和11年度でも、財政調整基金等の4基金は枯渇しない見込みであるため、財源的には可能であると判断している。しかし、近年の資材費や労務費の上昇により、事業費も変動することから、建設時期が短期間に集中すると、財政運営や地元発注の観点からも、その対応が難しくなる。そのため、大型建設事業の平準化を行い、直近の経済情勢も考慮し、財政状況を踏まえながら事業の実施に取り組む必要があると考えている。





行財政・一般

産業振興部の機構改革を 求める!!



中崎 秀紀 議員

記録的な暑さなどの環境変化、担い手不足、食の安全保障等、農林水産業を取り巻く状況は厳しさを増している。また、商工業関係を取り巻く環境も大きく変化し、新たな取り組みが必要になっている。このような背景から産業振興部を農林水産部門と商工業部門に分ける機構改革を求めるが、次年度の組織体制について市長の見解を尋ねる。

答 これまで産業振興部の在り方と現在の課題等について協議、検討を重ねてきており、産業振興部においては商工部門と農林部門という形で分けるように考えている。具体的な内容や機構改革の在り方については、企画政策部など幅広く及んでいるところもあるため、全体の機構改革の見直しの決定と合わせて、12月議会で示せるように進めていきたい。



行財政・一般

同窓会を婚活事業として 実施してはどうか



中村 仁飛 議員

少子化が叫ばれる中、結婚を望む人の出会いの場を増やすことが急務であると考えます。5組に1組が同級生婚とも言われているため、出会いの場の創設という点において、同窓会を国の交付金を利用して、市が婚活事業として行うことで、ここを底上げすることが有効だと思うが、市の考えを問う。

答 議員ご提案の事業については、現在、市が取り組んでいる婚活事業とは別の角度からアプローチできる内容であると感じる。婚活事業として、同窓会を開催するということは、参加者に既婚者が含まれるケースもあることや、カップルの成立、成婚につながったかどうか等の効果検証が非常に困難であると考えている。また、婚活としてではなく旧友との再会を楽しみたいという方もいるため、婚活事業の一環として市が事業化することは難しく、市民の有志で行われることが望ましいと考えている。



行財政・一般

新庁舎等整備計画に ついて



松尾 祥秀 議員

新庁舎の他に体育館、文化ホール等の建設について説明を受けたが、その他に整備予定はあるのか。また、それぞれの財源および国の補助についてはどのようになっているのか。それらの整備を行うことにより、本来自治体が行うべき他の業務に影響はないのか。

答 環境センター整備事業の事業費207.6億円の財源は、国県支出金60.8億円、地方債124.5億円、一般財源等22.3億円を見込んでおり、学校長寿命化計画の事業費154.9億円の財源は、国県支出金15.9億円、地方債28.5億円、一般財源110.5億円を見込んでいる。中期財政見通しでは、5年後の令和11年度においても、財政調整基金等4基金は枯渇をしない見込みであるため、現在取り組んでいる事業に関しては、財源的には可能であると考えている。



行財政・一般

ゆでぴポイント寄付機能で しあわせ循環を!!



中崎 秀紀 議員

地域通貨「ゆでぴ」を導入し市民大清掃参加者にポイントを付与しているが、清掃は地域貢献活動でボランティアだから不要との声もある。そこで、このポイントを公益的な活動をする団体(子ども食堂・町内会・地域猫活動等)に寄付できる機能を付加することで、新たなポイント獲得の意義や誘因になると考えるが、市の見解を尋ねる。

答 現在のシステムではポイントの送金や個人から団体へのコインの送金ができない仕組みである。また、システムの運営元である金融機関によると、資金決済に関する法律によりデジタル地域通貨は寄付目的で受け取った場合換金ができない。一方で、支払いとして集めた寄付金の場合、換金は可能だが支払いの対価である商品やサービスを用意する必要があるとのことである。議員ご提案の仕組みについては、非常に良い取り組みであるため、他団体の事例などを参考に手法や法的整理などについて、金融機関等と協議、検討を行いたい。



行財政・一般



光山 千絵 議員

**ボート事業に依存した
財政運営を見直すべき**

本市はボート事業から巨額の繰入金があるが、類似都市と比べ財政硬直化が進んでいる。昨年の中期財政見通しでは令和6年度から5年間で累積収支不足額が244億円生じる見通しとなっている。今後、多数の大型建設事業により、さらに財政悪化が懸念されるが、財政運営基本方針では安易に基金補てんで解消する手法は限界があるとされている。市長はこの問題をどう考えるのか。

答 財政運営基本方針においてモーターボート競走事業収益基金以外の3基金の目安を設けており、40億円としている。令和5年度末3基金の残高は63億円であり、毎年この63億円を取り崩して財政運営をしていくのであれば問題だが、これ以外の部分でしっかり実行できる状況である。今後も3基金の残高はしっかり注視をしていきたいと思っており、現在は、持続可能で安定的な財政運営をきちんと遂行できていると考えている。



行財政・一般



光山 千絵 議員

**住民票は法の趣旨に則って
交付すべき**

市は5月に同性カップルに対し、内縁の夫婦(事実婚)に準じた続き柄記載の住民票を交付した。住民基本台帳法は、住民の記録を正確かつ統一的去るよう求めており、居住自治体で記載方法が違ふのは問題である。さまざまな社会保障の対象となる内縁の夫婦と同じ記載は事実婚と混同されるなど、法の趣旨を逸脱した対応ではないか。

答 住民基本台帳事務処理要領における住民票の続き柄については、正確かつ統一的去るための十分な説明があるとは言えない。同性パートナーの続き柄に関してどのように記載するかは事務処理要領に示されておらず、今回の件は法の趣旨から逸脱しているものとは考えていない。もし、今回の件で統一的去る必要があるとするならば、同性パートナーの続き柄はこのように書くというふう去るに国が事務処理要領を見直すことが必要と考えている。



行財政・一般



村崎 浩史 議員

**生成AIで未来の行政へ！
効率化と質向上を実現せよ**

全国で生成AIの導入が進み、行政サービスの向上や業務効率化が期待されている。葛飾区や相模原市の事例を参考に、AI活用による効率化を図るべきである。まず、官民一体で理解を深める研修の実施、プライバシー保護や適正利用を確保するためのガイドライン整備が急務である。市の具体的な取り組み方針について尋ねる。

答 本市においても、活用に向けた検討や取り組みを進めていく必要があると考えており、生成AIのサービス事業者との協議や実証実験なども実施している。現在は、活用する業務の範囲、費用対効果、セキュリティ対策などについて、検討を進めている。生成AIを本格導入するには、職員の理解を深めるための研修会の開催や職員が守るべきルール、効果的な活用方法などをまとめたガイドラインを作成することが必要不可欠であるため、今年度は一般の方も参加できるセミナーの開催を計画するとともに、ガイドラインの作成についても検討を進めている。



行財政・一般



堀内 学 議員

eスポーツ活用について

eスポーツの発展は、地域経済の活性化、関心の高い若者の定住や移住の促進、高齢者の健康増進、また、教育分野でもeスポーツを通じて不登校やひきこもりから脱却し、社会復帰するまでにとどまらず、プロチームと契約まで至ったという事例もある。eスポーツを活用した総合的な町づくり構想の見解を求めらる。

答 eスポーツは、教育や国際交流、介護や福祉、医療のほか、地域活性化や観光振興、関係人口創出などさまざまな分野で活用が期待でき、地域経済やコミュニティの形成に寄与する可能性を秘めていると考えている。研修などを通してその活用と効果等をしっかりと理解していき、市民や市内事業所、高校や大学等の教育機関、各種団体等との連携が重要となってくる。他自治体の先進的な取り組みを参考に、いろいろな意見やアイデアなども取り入れながら、高齢者の認知症・フレイル予防や教育の場での活用など、eスポーツに関する取り組みを検討していきたい。



令和6年12月定例会の予定

11月 NOV

29日(金) 10時

- 本会議(議案審議・委員会付託)
- 一般会計予算決算委員会全体会(付託案件分担協議)

12月 DEC

3日(火)～6日(金) 10時

- 本会議(市政一般質問)

9日(月) 10時

- 本会議(市政一般質問)

10日(火)・11日(水) 10時

- 委員会(付託案件審査)
- 一般会計予算決算委員会分科会(分担事項審査)

12日(木) 13時

- 委員会(付託案件採決)
- 一般会計予算決算委員会分科会(分担事項意見集約)

17日(火) 10時

- 一般会計予算決算委員会全体会(分科会審査報告・付託案件採決)

19日(木) 10時

- 本会議(議案審議・委員会審査報告・採決)

※定例会の予定(日時等)は変更となる場合があります。
11月26日(火)の議会運営委員会で決定します。

行財政・一般



高濱 広司 議員

新庁舎にペロブスカイト太陽光発電の導入を

新庁舎の屋上に太陽光発電パネルを設置することが決まっている。旧来のシリコンを用いた太陽光発電である。しかし、今やペロブスカイト太陽光発電が取って代わろうとしている。日本人が発明した画期的な発明で、最近では窓と一体化した製品が市場に出ている。ぜひ、新庁舎全体にペロブスカイト太陽光発電を導入すべきである。

答 従来の太陽電池よりもさまざまな形状で使用でき、軽くて薄いペロブスカイト太陽電池については、設計業者から、現段階で実証検証中の素材であり、汎用的に量産販売されているものではないと確認している。そのため、現在の基本設計段階で設置する計画はないが、商品化の状況などを注視していきたい。



他の議会からの行政視察受け入れ一覧

大村市議会では、本市の特色ある事業や取り組みについて、全国各地の議会からの行政視察の受け入れを行っています。7月から9月までの受け入れ状況は、下記のとおりです。

月日	議会名	委員会・会派名	人数	内容
7月4日	埼玉県八潮市議会	みらい会議840	4人	こども未来館および保育コンシェルジュについて
7月8日	富山市議会	厚生委員会	11人	しあわせ循環コミュニティ事業について
7月9日	兵庫県伊丹市議会	都市企業常任委員会	11人	ボートレース事業および施設の概要について
7月10日	神奈川県藤沢市議会	民主クラブ	1人	しあわせ循環コミュニティ事業について
7月16日	千葉県山武市議会	議会運営委員会	9人	人口増加、移住定住に向けた取り組みについて
7月17日	京都府舞鶴市議会	公明党議員団	3人	しあわせ循環コミュニティ事業について
7月29日	青森県平川市議会	美郷会、日本共産党	8人	市民交流プラザ「プラザおおむら」について
8月1日	静岡市議会	自由民主党静岡市議会議員団	5人	ヤングケアラーについて
8月6日	佐賀県神埼市議会	文教厚生常任委員会	8人	eスポーツを活用した取り組みについて



各議員が通告した質問項目は以下のとおりです。

○高見 龍也

アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置購入への補助金創設／自転車利用者のための歩道の段差解消／教員の自宅持ち帰り残業時間の把握方法／令和5年度の小中学校でのいじめ認知件数／他

○久保 和幸

新規就農者の経営開始までの支援、経営開始後の経営支援、地域計画の策定状況、スマート農業の現状、補助条件の緩和、今後の取り組み／犬猫の不妊・去勢手術の予算確保、愛護団体の活動体制支援

○田中 秀和

公民館新築増改築等補助制度見直し／空港24時間化、民営化／関係人口の拡大／地域幸福度指数の活用／避難所運営訓練／情報インフラの強化／自立分散型電源整備／休日出勤時のシェアワークスペース／他

○竹森 学

地域猫活動、小中学校での動物愛護精神育成／クーリングシェルターへの給水器設置／充電池やそれを使用した電子機器の回収／マイナ保険証普及と利用促進／非正規公務員の賃上げの遡及改定／他

○水上 享

市役所新庁舎建設／各部各課の職員定数／各種休暇の取得／新庁舎移転における職員駐車場の確保／大村湾の水質改善／認定農業者への育成支援／認定新規就農者への支援／他

○南波 伸孝

新型コロナワクチン定期接種への見解、情報提供と周知／マイナ保険証、資格確認書の有効期限／成年後見制度／ポータルアプリ「おむすび。」進捗状況、みんなの予約ナビサービス内容確認／他

○中村 仁飛

市民プールのスライダー設置、経済波及効果、ボートと絡めた現在の市民プールの規模の維持／少子化の原因／婚活事業としての同窓会／新庁舎のヒアリンググループ

○中崎 秀紀

地方公務員「社会貢献型副業」、農業や部活動指導での副業／産業振興部機構改革／指定クーリングシェルター、民間施設設置、公民館の活用と冷房費補助／ゆでびポイント付与実績、寄付機能追加／他

○松尾 祥秀

新庁舎整備計画／大村駅周辺の再開発／産業・農業振興策

○里脇 清隆

環境基本計画に沿った環境会議の開催／企業版ふるさと納税の継続／漁業従事者の高齢化と後継者不足に対する危機感／ふるさと納税のさらなる取り組み

○永尾 高宣

スポーツを生かしたまちづくり／大村駅の歴史と景観を生かした取り組み／大村市の水の増量の見込み、新たな水源の取り組み／米作農業の現状と今後の継承／他

○入江 詩子

ファミサポ提供会員登録者数所感、おむらんどの使用、事故発生時対応／地域福祉計画の留意点と公的サービス未利用の高齢親と障がい者世帯の実態把握／特別な支援を要する児童生徒への支援／他

○小林 史政

九州新幹線西九州ルート整備促進／新庁舎をはじめ、主な大型建設事業の今後／大学誘致のその後／公共交通における利用者支援と利便性向上／ファミリーサポート

○村上 秀明

大村市地域公共交通計画における具体的な施策、MaaSに関する情報発信、路線バスから予約型乗り合いタクシーへの転換のスケジュール／分収林の管理の現状と今後

○光山 千絵

同性カップルの住民票続き柄における記載経緯と影響、住民基本台帳法、住民基本台帳事務処理要領、総務省の回答／大型建設事業による財政への影響、財政運営基本方針／空き家対策、空き家の現状

○山口 弘宣

市内スポーツ施設のオンライン予約の在り方／自転車政策／漬物等加工施設および農産物直売所／在宅介護におけるケアラー（介護者）支援の取り組み

○晦日 房和

北部九州インターハイ、日本スポーツマスターズ2024長崎大会／陸上競技場の改修、市営テニスコート照明のLED化／新型コロナウイルス、手足口病／本市の協定、包括連携協定例、個別協定例／他

○堀内 学

点字ブロックの設置状況、国道や県道での設置要望／中学校での上履き（スリッパ）の災害時の避難における安全性／eスポーツを不登校やひきこもり問題解消の一つとしての活用

○村崎 浩史

来年度に向けた行政組織の在り方、新体育館・文化施設の整備に関する影響／旧楠本正隆屋敷庭園の活用、同性カップルに発行した住民票をめぐる総務省との協議内容および国に対する要望、働きかけの内容

○高濱 広司

新温水プール／野岳アスレチック施設の使用料／新体育・文化施設等に係るスポーツツーリズム／新庁舎の分離発注／県産材の活用／デジタルサイネージの導入／町内会のごみ収集のマナー啓発／他





・大村市議会NEWS・

おおむら夏越まつりに参加しました。

8月3日に開催された夏越まつり総踊りに「大村市議会連」として参加しました。1,000人を超える踊り手の皆さんと一緒に、楽しく元気に踊りました。



本会議の様子を中継しています

大村市議会では、本会議の様子をさまざまなコンテンツで中継しています。

おおむらケーブル
テレビ
11ch
当日の19時から
12chで再放送

FMおおむら
76.3MHz
一般質問のみ

インターネット放送
(大村市議会ホームページ)


YouTube
公式チャンネル


市議会だより編集後記

9月議会では令和6年度一般会計補正予算に対して、付帯決議が採択されました。市が社会福祉協議会に委託している福祉事業に関し、消費税がかからないものとして処理されてきた過去5年分に対し、課税対象だったとのことで、市および社会福祉協議会でその責任に応じてそれぞれ、1,900万円、1,000万円を負担するため、市の負担分が補正予算計上されました。

予算決算委員会および厚生文教分科会で慎重な審査が行われました。この消費税相当額は、本来であれば市が負担すべきものであり、社会福祉協議会を指導するべき立場にある市の責任は重い。全額市が負担すべきとの意見が大多数を占め、付帯決議がなされたものです。議会には予算の提案権はありませんが、付帯決議を行うことで行政側に予算の計上を促すことができます。市の対応を期待します。(田中 秀和)

広報委員会

- 委員長 水上 享 ● 副委員長 田中 秀和
- 委員 久保 和幸 光山 千絵 高濱 広司 永山 真美 田中 博文
古閑森 秀幸 山口 弘宣 村上 秀明

この広報紙は



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



可読性の良い書体
を使用しています。

市政一般質問や定例会の内容など、
もっと詳しく知りたい方は
大村市議会のホームページをご覧ください。

大村市議会

検索



編集・発行 大村市議会

大村市玖島1丁目25番地

TEL.0957-52-3828